

株式会社 モスフードサービス

証券コード：8153



モスの株主通信

第54期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日



「MOSごと美術館」は、モスバーガーのお店などで障がいのある方の作品を楽しんでいただく取り組みです。この取り組みについて、詳しくは6ページをご覧ください。

「おさる馬いぬ桜の木ホワイトライオン」 竹内 栄二

(作品について)

自然をテーマに、見たこと聞いたことを独自の解釈で表現する作者。オリジナリティあふれる鮮やかな作品を制作しています。

中期経営計画(2025-2027)が本格始動。
「モスの心」への共感をさらに広げ、
日本の外食産業の一翼を担う存在を
目指します。

代表取締役社長 中村栄輔



Q

上期の営業状況と通期業績の見通しについてお聞かせください。

A

国内の外食産業は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善により、回復基調で推移しています。しかし、不安定な国際情勢や原材料・エネルギー価格の高止まり、調達費用の上昇といったリスク要因が多く、予断を許さない状況が続いています。

このような環境の中、当社グループは5月に2025-2027年度中期経営計画を発表しました。この3年間で「環境に適応し、新たな価値を生み出し、発揮する期間」と位置づけ、さらなる飛躍を目指しています。

基幹事業である国内モスバーガー事業では、前期に引き続き、消費の二極化に対応するため、3価格帯の品ぞろえをする「価格のグラデーション戦略」を進めた

結果、より幅広い顧客層の獲得につながりました。また、全社的に費用対効果を意識して販管費の抑制に努めたほか、在庫回転率の向上による保管費の抑制、移送の効率化など、多角的なコスト抑制策にも尽力しました。

これらの結果、上期の連結業績は、売上高が507億58百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益40億41百万円(前年同期比49.1%増)、経常利益42億84百万円(前年同期比50.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は28億34百万円(前年同期比59.0%増)となりました。

通期業績については、売上高970億円(前期比0.8%増)、営業利益52億50百万円(前期比0.5%増)と計画しています。中間配当金は1株あたり15円といたしました。期末配当も中間と同額の15円を計画しています。

Q 各事業の取り組みについて
ご紹介ください。

A 新中期経営計画では、“[MOS BURGER]から、さまざまな価値を発信するブランド[MOS]に進化する”という方針を掲げ、主力のハンバーガー事業を大切に守りながらも、新たな価値を生み出していくことを目指します。国内モスバーガー事業では、既存店売上高の5%成長を目標とし、当上期においては、日本の良さを存分に楽しめる高付加価値バーガーとして「新とびきり」シリーズや「海老エビフライバーガー」の新商品を展開。あわせて、レギュラー、プレミアム、超プレミアムの3つの価格帯によるグレーション戦略を推進しました。

店舗運営においては、地域に密着した店舗づくりを推進しています。看板を「MOS BURGER」から「MOS」へ変更することで、多様な価値を発信する新生「MOS」を多くのお客様に訴求しています。また、時間帯売上を平準化する取り組みの一環として、カフェ需要に対応したドリンクやスイーツの充実を図りました。

モスブランドを活用した事業展開として取り組んでいるマーチャンダイジング事業では、公式オンラインショップ「Life with MOS」での商品ラインナップやサービス内容を積極的に拡充しています。7月にオンラインショップで発売した「モスライスバーガー〈のり弁〉」は、白身魚フライやきんぴらごぼうなどの具材を合わせた海苔巻きスタイルで、手軽に楽しめる高い商品力が奏功し、ヒット商品となりました。

海外事業は現在、アジアの国と地域で展開しています。ここ数年で不採算店舗の閉店や価格の見直し、

管理コストの抑制といった収益性の改善策を講じた結果、経営基盤が着実に強化されてきています。特に香港では回復傾向が顕著に現れてきました。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 当社はこのほど、1972年の創業以来50年以上にわたり受け継いできた理念体系「モスの心」を再整理し、私たちの使命(Our Mission)として「食を通じて、世界中の人を幸せにすること。」を掲げました。事業の拡大とグローバル化が加速する中、多様なモスメンバーが共感し、組織が持続的に成長していくには、普遍的な価値観は変えずに、時代に合わせて言葉や表現を磨く必要があると考えました。モスに関わるすべての人に、この「モスの心」を抛り所としてもらい、さらなる成長を目指すための羅針盤としたいと考えています。

これからも当社は長期的な視点に立ち、着実な経営を通じて企業価値の持続的な向上を目指します。そして「モスの心」への共感をさらに広げ、日本の外食産業の一翼を担うグループへ成長できるよう邁進してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



国内モスバーガー事業の取り組み

当チェーンでは、消費の二極化に対応するため、レギュラー・プレミアム・超プレミアムの価格のグラデーション戦略で、より幅広い顧客層の獲得に努めています。また、2024年度より継続している「和ごころエンジョイ」をテーマに、日本文化を大切にしたい独自の食体験を提供し、ブランド価値の向上を図っています。



現在販売中のメニュー情報は
モスバーガー公式サイトを
ぜひご覧ください。

価格のグラデーション戦略

「ハレの日需要」に向けた 夏のプレミアムバーガーが登場

「黒毛和牛の肉盛りバーガー」※

生姜やんにく、七味を効かせた黒毛和牛をたっぷり挟み、見た目のインパクトも十分なまさに「肉盛り」な商品です。香り豊かなプレミアムバンズで挟み、食べ応えも抜群。スタミナをつけたい夏にぴったりのご褒美バーガーをお届けしました。



新ブランドCM放映開始

「食べるHAPPY」篇

新ブランドCMのコンセプトは「食べる HAPPY」。老若男女がモスバーガーで過ごす「食を通じて心が動く瞬間」を、世界的な写真家ハービー・山口氏の写真で切り取り、食がもたらす幸せを表現しています。CMを彩る楽曲には、back numberさんが本CMのために書き下ろした新曲「ある未来より愛を込めて」を起用。愛とやさしさに満ちた前向きな楽曲が映像と一体となり、ブランドメッセージを力強く発信します。



秋の定番

和ごころエンジョイ

「月見フォカッチャ」※

“裏月見”の新作

「メンチカツ チーズバーガー」※

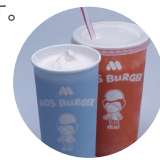
これまでに累計950万食を売り上げた人気の「月見」シリーズは、秋の定番として定着しています。販売4年目の「月見フォカッチャ」は、おいしさだけでなく栄養価にもこだわり、半熟風たまごをリニューアル。卵黄ソースの濃厚さを増すために、醤油の配合を調整しました。また、「月見」シリーズの新商品として、二十六夜をイメージした独自コンセプトの“裏月見”の「メンチカツチーズバーガー」を展開。メンチカツとチーズを合わせることで全体の旨みを最大限に引き出す、ボリューム感を重視した一品に仕上げました。

※現在は販売・企画を終了しています。(注釈のない商品・企画についても、販売状況が変わる場合がございます)

おかげさまでモスシェイクは50周年

「3時の“吸憩”」をテーマに 話題のプロモーションを展開!※

人気ドリンク「モスシェイク」は今年で50周年。疲労感や自然な眠気が生じやすい午後3時頃を「3時の“吸憩”」とし、休憩を推奨。人気声優の石田彰さんがモスシェイク役として声を務めるWEBムービーなどの企画を展開しました。冷たさとやさしい甘さで午後の心と身体をリフレッシュするモスシェイクとして、今後も変わらぬ価値を提供していきます。



1975年発売初期の頃の
「モスシェイク」

LiMos © 2022 MOS FOOD SERVICES, INC.

当社は新中期経営計画に基づき、「MOS」ブランドの価値を多様な分野へ展開することを目指しています。その一つであるマーチャンダイジング事業において、「モス公式オンラインショップ～Life with MOS～」の商品とサービスを拡充しました。

「モス公式オンラインショップ～Life with MOS～」

③ つのトピックス

オンラインショップを
ぜひご覧ください!

<https://ec.mos.jp>



その①

eギフトの導入とお中元販売で ギフト需要を拡大

2025年6月より、相手の住所を知らなくても商品を贈れるデジタルギフト「eギフト」の提供を開始。人気の冷凍モスライスバーガーやスープなどを、より手軽にギフトとして活用できるようにしました。同時に、お中元ギフトの販売を開始し、「4種のスープ 食べ比べセット」などを、専用の化粧箱に熨斗シールをつけた贈答用ギフトとしてお届けしました。



その②

モスライスバーガー初の「海苔巻き」スタイルがヒット商品に

2025年7月8日より公式オンラインショップと楽天市場店にて、「モスライスバーガー〈のり弁〉～白身魚フライとさんぴら～」の販売を開始。お弁当の定番「のり弁」をモス流にアレンジし、モスライスバーガーとして初めて「海苔巻き」スタイルを採用。白身魚フライやさんぴらごぼう、おかか煮などの具材を使用し、ボリューム感のある一品に仕上げました。



その③

開設3周年を記念し、 割引セットやコラボ商品を展開

2025年7月より、開設3周年を記念したキャンペーンを開催。人気のモスライスバーガー8個セットなどが割引となる「3周年福袋」を期間限定でご用意しました。また、イラストレーターのYunosuke (ユウノスケ) さんとのコラボレーション企画を実施し、オリジナルコラボトートバッグとステッカーも販売開始しました。



関西地域限定



外国人観光客も含めたお客様へ「モス流」のおもてなし

「MOS BURGER KANSAI FESTA」開催!※

大阪・関西万博の開催に合わせて、外国人観光客が増加している関西地域にて「MOS BURGER KANSAI FESTA」を実施しました。この一環として、英語表記の「モス流観光マップ」提供によるおもてなし強化のほか、6月には「キッチンカー MOS50」を関西地域で初出店し、多くの外国人観光客の皆様へ、定番商品の「モスバーガー」やキッチンカー専用商品などを味わっていただくことができました。

「国産牛すじバーガー」※

外国人観光客へ関西の食文化を発信すべく、関西で親しまれている牛すじ煮込みを大胆にパーティにのせ、「MOS BURGER KANSAI FESTA」のメイン商品として限定販売しました。



※現在は販売・企画を終了しています。

モスグループのサステナビリティ



「モス SDGs アクション」とは

モスバーガーでは、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた取り組みを進めています。社会課題の解決につながる活動や施策を「モス SDGs アクション」と位置づけ、シンボルアイコンを通じて情報発信しています。

2025年度上半期の主な取り組み

モスバーガー×名古屋大学×夏目総合研究所 子どもの「弱視」早期発見を応援

当社は、子どもの「弱視」早期発見率向上のため、名古屋大学医学部附属病院・夏目総合研究所と共同で乳幼児向け視力測定機器の研究開発を支援。その一環として、2025年6月の「こどもの目の日」に合わせ、全国のモスバーガー店舗で啓発リーフレットを配布しました。子どもの目の健康を守る活動を応援しています。



9月上旬よりメニュー表などへの認証マーク表示を開始

「グリーンバーガー〈テリヤキ〉」プラントベース食品認証を取得

食に制限のある方々などにも一緒に食事を楽しんでもらえるよう、おいしさや健康に配慮したメニュー開発に取り組んでいます。この度、主要原材料に動物性食材を使わず、野菜と穀物を主原料に使った「グリーンバーガー〈テリヤキ〉」が、プラントベース食品認証*を取得しました。取得に併せて、メニュー表などに「プラントベース食品認証マーク」を表示し、お客様にその特徴を分かりやすくお伝えしています。

*（一社）Plant Based Lifestyle Labによる、植物由来の原材料を使用したプラントベース食品に関する認証制度。

環境に配慮し容器を紙製へ変更

「こだわりサラダ 和風ドレッシング〈減塩タイプ〉」リニューアル

7月のリニューアルでは、赤パプリカやサラダほうれん草を新たに採用し、彩り鮮やかなサラダに仕上げました。また、テイクアウト容器を再生PET製から紙製に変更し、年間約57トンのプラスチック削減が可能になりました。



(左)プラントベース食品認証マーク (右)ロゴマークを表示したメニュー表

産地との主な取り組み 地域・期間限定商品PICK UP

モスバーガーでは、日本生まれのハンバーガーチェーンとして、日本各地の特色ある食材を活かした商品づくりを大切にしています。地元で採れた野菜を使用した限定商品を販売する「モスの産直野菜フェスタ」や「モスの県産野菜フェスタ」などを開催するほか、地域特産品を使った「まぜるシェイク」を限定販売し、地域の魅力を発信しています。



「新とびきり 大盛りトマトモス野菜チーズバーガー」



「新とびきり 大盛りトマトチリバーガー」



「ふんわりスフレパンケーキ (埼玉県産いちご)」



「まぜるシェイク 埼玉県産いちご」



「黒アヒージョーバーコンバーガー」



「まぜるシェイク 醤油キャラメル風〜テリヤキ〜」

“ちばの醤油グルメフェア 2025”へ参加

千葉・茨城県内のモスバーガーと大崎店（東京都）で、醤油やベーコンなどさまざまな千葉県産の食材を使用した「黒アヒージョーバーコンバーガー」と「まぜるシェイク 醤油キャラメル風〜テリヤキ〜」を限定販売。「ちばの醤油グルメフェア2025」にも参加しました。

子ども支援活動「こどもごちめし」に参画

▶ 夏休みの子育て世帯を支えるため 全国で1万食を無償提供

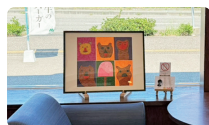
当社は、NPO法人Kids Future Passportが主催する「こどもごちめし」活動に賛同し、夏休み中の子育て世帯を支援しました。この取り組みは、生活に困窮するご家庭や、支援を必要とするお子様を中心に、温かい食事をお届けするものです。2025年7月より、全国の店舗を通じてテリヤキバーガーなどのセットを1万食無償提供し、子どもの食の課題解決に貢献しました。

モスバーガーの子育て応援！「こどもス」プロジェクト

モスバーガーで働く父母の声から生まれた「こどもス」プロジェクトは、子連れのお客様が周囲を気にせず、店舗を利用できる環境づくりを目指し、2024年5月より推進しています。9月時点で全国345店舗で展開し、「こどもス優先席」や絵本の交換ができる「こどもス文庫」、子ども自身の注文を応援する「こどもスチャレンジ」などを通じて、子育て世帯にやさしい店舗づくりに取り組んでいます。



モスを通じて個性豊かなアート作品が広がる「MOSごと美術館」



「MOSごと美術館」とは

障がいのある方の社会参加支援を目的にアート作品を活用する取り組み。今回の株主通信の表紙デザインには、MOSごと美術館にも参加している作家の作品から「おさる馬いぬ桜の木ホワイトライオン」を採用させていただきました。

「MOSごと美術館」群馬など 3地域に拡大、アートカップも提供

2016年に新潟で開始して以来、地域の障がいのある方のアート作品を店舗に展示する取り組みを行っています。今年度は群馬県の13店舗で作品展示を開始し、さらに、アート作品をデザインしたドリンク用の紙カップも提供しました。その他にも、神奈川県横浜市で2店舗、東京都文京区では1店舗で新たに作品展示を実施するなど、展示を通じて障がいのある方の社会参加支援を継続的にを行っています。



「MOSごと美術館イラストカップ」
(作品名：「ペイトン閣下」 作家：朝倉シーナ)

持続可能な社会づくりへ 原宿表参道店が改装リニューアル

当社の持続可能な社会づくりへの取り組みを発信するフラッグシップ店舗である「モスバーガー原宿表参道店」を2025年9月に改装リニューアルしました。「MOSごと美術館」の一環として、障がい者アートを内装に取り入れている同店では、今回新たに7作品を採用。アートギャラリーのような空間で、社会参加を継続的に支援しています。



- [モスフードサービス](#)
- [企業サイト](#)
- [サステナビリティ](#)
- [ページ](#)



「モスの森」では環境、フードダイバーシティ、食育、店舗による地域貢献活動など10のカテゴリで記事を掲載しています。小さな社会活動がまるで木の実のように芽を出し、それらが集まることでやがて多様性のある大きな森に育っていくことをイメージして名づけました。



TOPICS

2025年度上半期の主なトピックスをご紹介します。



4月

“MOS RECORDS” 第2回オーディション開催※

モスバーガーで働くキャストを対象に、次世代アーティストなどを発掘するモスレコーズプロジェクト。「音楽」部門に加えて今年は「アート」部門が新設されました。店舗を活性化させ、より魅力的な店舗を未来のアーティストと共創していきます。



モスプレミアム 「和牛バーガー・コルビージャックチーズ」※

“大人の憩いの場所”をテーマにしたハンバーガーレストラン「モスプレミアム」限定で販売した本商品。アメリカではポピュラーなコルビージャックチーズを贅沢に使用し、プレミアムな体験をお客様に提供しました。



5月

今年は東京・大崎店でも販売 「淡路島産たまねぎバーガー 和風しょうゆ仕立て」※



関西の店舗を中心に、春の定番バーガーとして大変ご好評いただいている、販売10年目の商品です。今年は東京都の「モスバーガー大崎店」でも販売し、地域の食材の魅力を東京でも発信しました。

大ぶりの海老フライが2本!「海老エビフライバーガー」※

これまで肉パティが中心だった高付加価値バーガーにおいて、初めて海老を使用した商品です。大ぶりのパナメイエビを使用し、背ワタは手作業で取り除くことで、ぷりっとした食感を残しています。



初夏らしい一品 「バジルマヨの海老カツバーガー〜国産バジル〜」※

リピーターの多い人気商品「海老カツバーガー」の新たなバリエーション商品として販売。海老との相性が良く、女性からの人気も高い国産バジルを使用しており、サラダ感覚で楽しめる一品です。



「日向夏&レモン ジンジャーエール」 「まぜるシェイク 日向夏&レモン」※

*宮崎県産日向夏3倍濃縮果汁0.6% 瀬戸内産レモン果汁0.1%

爽やかな酸味と程良い苦みが特徴の宮崎県産日向夏をドリンクに使用しました。爽快感のある炭酸ドリンクと、バニラシェイクを合わせた甘く爽やかなドリンクを期間限定で販売し、好評でした。



“母の日”に長野・山梨県の モスバーガー店舗で カーネーション1輪プレゼント※

おいしいハンバーガーを食べながら感謝の気持ちをお伝えいただけるよう、カーネーション生産量日本一の長野県の農政部ご協力のもと、約2,700本のカーネーションをプレゼントしました。

モスバーガー&カフェ限定 「米粉のほうじ茶コヌレ(こしあん入り)」 「米粉のゆずコヌレ(白あん入り)」※

モスバーガー&カフェ限定スイーツとして、国産の米粉を使ったもちりとした弾力のある生地であんこを包んだ、カヌレ型の和スイーツ「コヌレ」2種を販売しました。



6月

マザーリーフティースタイルで 「白桃とマンゴーのピーチティー (ナタデココ入り)」販売※

ピーチとマンゴーの豊かな風味に、ナタデココのつぶつぶ食感がアクセントとなり、フルーティーな甘みと爽やかな紅茶の香りが、癒しのひとときにぴったりな商品に仕上げました。



千葉県民の日(6月15日)を記念 「ぜいたくモスバーガー」 「ぜいたくモスチーズバーガー」を限定販売※

千葉県民の日を記念し、「千葉茨城 Cheeeeeese フェスタ」を開催。「ぜいたくモスバーガー」と「ぜいたくモスチーズバーガー」の2種の限定バーガーを販売しました。創業期メニューをアレンジし、パティ2枚とミートソースなどでボリュームたっぷり仕上げました。



7月 Kit Oisix 「BBQ&タルタルで! 海老カツポウル」※

プリッとした食感の海老カツに、配合にこだわり抜いた2種類のソース「BBQソース」「タルタルソース」を合わせました。お好みに合わせてソースを調整できるので家族全員で楽しめます。



「モスタコスバーガー」販売※

「夏の味覚・彩りをラインアップで魅せるキャンペーン」をテーマに、メキシコ発祥のタコスをもス流にアレンジした商品です。隠し味に味噌を加え、甘みとコクも感じられるよう仕上げました。



夏の定番! 「ホットスパイスモスチキン(カレー)」※

2021年から夏の季節限定で販売している商品で、5年目となる今年はスパイスオイルをリニューアルしてカレー風味とし、カレーの香りが食欲をそそる一品に仕上げました。



PICK UP 1

烏野高校排球部がモスに集合! アニメ「ハイキュー!!」と初コラボ※

「ハイキュー!!」は、幅広い世代から人気を集める青春スポーツマンガです。今夏、同作品とのコラボによる「サマーラッキーバッグ」の販売やコラボおもちゃのご提供、作品の舞台である仙台市内店舗へキャラクターの等身大パネル設置などのキャンペーンを展開し、大好評いただきました。



8月 モスバーガー 「青森ねぶた祭」初出陣!※

東北地域のモスバーガー店舗が地域貢献活動の一環として「あおもり市民ねぶた実行委員」へ協賛し、「モスバーガー」「オニポテ」を表現したオリジナルの前ねぶたが出陣しました。



マザーリーフ 「6種果実が香るサングリアフルーツティー」※

濃厚なコンコードとカベルネ・ソーヴィニヨンの赤葡萄ジュース※と、4種の果実(りんご、オレンジ、ラズベリー、ブルーベリー)を加えた、芳醇で爽やかなフルーツティーです。

※赤葡萄ジュースは、コンコード種90%・カベルネソーヴィニヨン10%を使用。



9月 秋田県・横手市の 魅力をお届けする 「あえん」秋メニュー※

各地の食材や季節感のある旬菜料理を提供する「玄米食堂あえん」。秋季限定で、「発酵のまち」秋田県横手市産の生ハムやいものこなど、秋に旬を迎える野菜を使用したメニューを展開しました。



さつまいもの季節! 「熱々(あつあつ)おさつボール」 「まぜるシェイクさつまいも ～北海道産 紅はるか～」※

昨年約2ヶ月で85万食を売り上げ、大好評をいただいた「熱々おさつボール」とさつまいもドリンクが今年も復活販売。シェイクは北海道産「紅はるか」ソースにリニューアルしました。



PICK UP 2

「リルモス(LiMos)」のテーマソング 「リルモスのシルクハット」動画を公開

楽曲「リルモスのシルクハット」は、「リルモス」の魅力をより多くの方に知っていただくことを目的に制作しました。動画内ではオリジナル振り付けもご用意しています。ぜひ動画*をご覧ください。一緒に心あたまる時間をお楽しみください。



*YouTube: https://youtu.be/9W71qC1bf_w

モスバーガー店舗のBGM環境を一新

時間帯ごとに「MOS」の名称に由来するテーマを設定し、統一感あるサウンドをお届けする「モスサウンドセレクション」を導入しました。お客様にとって快適な空間をつくり、モスバーガーが人の集まる場所になることを目指します。



※現在は販売・企画を終了しています。
(注釈のない商品・企画についても、販売状況が変わる場合がございます)

連結決算ハイライト

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	中間 (累計)	通期	中間 (累計)	通期	中間	通期 (予想)
売上高	46,138	93,058	47,578	96,185	50,758	97,000
売上総利益	22,112	43,906	22,834	45,447	24,221	—
営業利益	2,368	4,185	2,711	5,223	4,041	5,250
経常利益	2,565	4,392	2,848	5,569	4,284	5,450
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	1,500	2,573	1,782	3,150	2,834	2,900
純資産	50,925	52,086	53,784	54,326	57,172	—
総資産	77,589	79,711	80,817	80,576	83,852	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,595	10,160	2,168	7,346	4,080	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,418	△2,135	△677	△1,642	△1,366	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,851	△3,944	△1,658	△3,730	△1,169	—
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	20,432	23,155	23,178	25,287	26,705	—

各事業内容

モスグループは、「食を通じて、世界中の人を幸せにすること。」を使命とし、その実現のために国内モスバーガー事業、海外事業、新規飲食事業の3つの事業と、それらを支援するその他の事業を展開しています。

国内モスバーガー事業

標準タイプの「モスバーガー」のほか、カフェタイプの「モスバーガー&カフェ」など新たな形態の店舗展開も進めています。

1,314店舗



海外事業

6つの国と地域（台湾、シンガポール、香港、タイ、韓国、フィリピン）で展開しています。

412店舗



新規飲食事業

紅茶カフェ「マザーリーフティースタイル」、玄米定食を楽しめる「玄米食堂あえん」など、新たなFC店舗モデルの開発を進めています。

26店舗



その他の事業

(株)エム・エイチ・エス（衛生管理）、(株)モスクレジット（保険）、(株)モスシャイン（アウトソーシング）が、グループ内の事業・業務を側面から支援しています。



特例子会社 (株)モスシャイン

※店舗数：2025年9月30日現在



会社概要

商号	株式会社モスフードサービス MOS FOOD SERVICES, INC.
設立年月日	昭和47(1972)年7月21日
資本金	114億1,284万円
主な連結子会社	株式会社モスストアカンパニー 株式会社エム・エイチ・エス 株式会社モスクレジット 株式会社モスシャインなど8社 他に、持分法適用会社7社

役員

代表取締役社長	中村 栄 輔
取締役常務執行役員	福島 竜 平
取締役上席執行役員	太田 恒 有
取締役上席執行役員	笠井 洸
取締役上席執行役員	安藤 芳 徳
取締役上席執行役員	瀧 深 淳
取締役(社外取締役)	中山 勇
取締役(社外取締役)	小田原 加 奈
取締役(社外取締役)	小山 薫 堂
常勤監査役	永井 正 彦
常勤監査役	臼井 司
監査役(社外監査役)	藤野 雅 史
監査役(社外監査役)	松村 卓 治

株式の状況

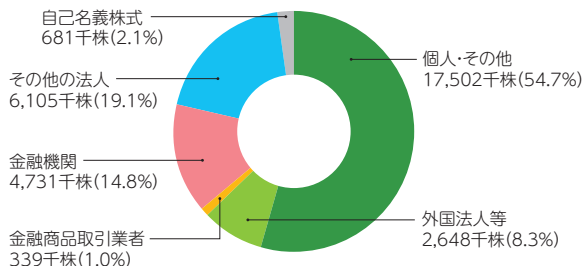
発行可能株式総数	101,610,000 株
発行済株式総数	32,009,910 株
株主数	50,677 名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,916	9.31
紅梅食品工業株式会社	1,400	4.47
株式会社ダスキン	1,315	4.20
株式会社ニッター	1,214	3.88
日本生命保険相互会社	1,209	3.86
山崎製パン株式会社	718	2.29
株式会社日本カストディ銀行	437	1.40
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	414	1.32
JP MORGAN CHASE BANK 385781	363	1.16
モスフードサービス協会持株会	319	1.02

※当社は自己名義株式を681千株保有しておりますが上記の大株主より除外して
います。

所有者別株式分布状況



株主インフォメーション

株主優待制度

保有株式数などに応じて、全国のレストラン店舗*及びミスタードーナツ店舗（一部店舗除く）で利用できる株主優待券を、年2回ご提供。

*レストラン店舗：モスバーガー、モスプレミアム、モスド、マザーリーフ/ティースタイル、カフェ 山と海と太陽、あえん、スタンドバイモス

発行月 6月、11月（予定）

対象基準 単元株（100株）以上の株式を保有している方が対象となります。6月発行分は、3月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

優待内容

保有株式数	継続保有3年未満株主	継続保有3年以上株主* (長期保有株主優遇制度対象)
100株以上 300株未満	年間2,000円分 (500円×2枚を年2回)	年間3,000円分 (500円×3枚を年2回)
300株以上 500株未満	年間6,000円分 (500円×6枚を年2回)	年間8,000円分 (500円×8枚を年2回)
500株以上 1,000株未満	年間10,000円分 (500円×10枚を年2回)	年間12,000円分 (500円×12枚を年2回)
1,000株以上	年間20,000円分 (500円×20枚を年2回)	年間22,000円分 (500円×22枚を年2回)

*毎年3月末日及び9月末日の当社株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載又は記録され、かつ同期間の保有株式数が継続して100株以上である株主の方が対象です。

有効期限 6月発行分 翌年3月末日まで
11月発行分 翌年9月末日まで

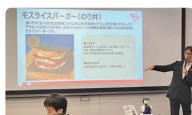
リアルとWEBで対話！株主様イベントを実施

株主の皆様へ当社グループへの理解を深めていただくことを目的に、イベントを実施しています。今期は8月に初の動画配信形式のファンミーティング（WEB）を、9月に会社見学イベント（リアル）を実施しました。

※株主イベントの実績などはこちらからご覧いただけます



株主様ファンミーティング



株主様会社見学イベント

株式についてのご案内

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金基準日 3月31日

中間配当金基準日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人、
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告による

公告掲載URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/8153/8153.html>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告します。）

理念体系「モスの心」の再整理について
社外取締役や有識者による特集で紹介！

MOS REPORT

（モスグループ統合報告2025）

最新の「MOS REPORT（モスグループ統合報告2025）」が発行されました。経営戦略や事業概況、環境保全や社会に配慮した活動、ガバナンス体制などの非財務情報と財務情報を統合してわかりやすく解説しています。

<https://www.mos.co.jp/company/csr/report/>



GREEN PRINTING JPN
P-A10007
この印刷製品は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。

